

特定教育・保育施設 量の見込みと提供体制

令和4年10月5日

1.量（申込者数）の見込

2.提供体制

3.市内幼稚園新制度移行状況

4.中間見直しの方向性

5.資料

人口推計の見直し

		実績			計画	
		R02	R03	R04	R05	R06
0才	見直し前 計画	837	839	839	839	839
	実績・見直し後 計画	823	717	676	688	686
1才	見直し前 計画	806	810	810	812	812
	実績・見直し後 計画	803	807	699	684	705
2才	見直し前 計画	809	790	792	793	796
	実績・見直し後 計画	818	774	753	698	691
3才	見直し前 計画	829	791	771	773	776
	実績・見直し後 計画	832	765	733	749	697
4才	見直し前 計画	805	819	780	762	764
	実績・見直し後 計画	791	816	746	729	751
5才	見直し前 計画	809	795	807	769	752
	実績・見直し後 計画	799	768	784	742	729
全体	見直し前 計画	4,895	4,844	4,799	4,748	4,739
	実績・見直し後 計画	4,866	4,647	4,391	4,290	4,259

見直し前

約4,700人から減少推移



見直し後

約4,300人から減少推移

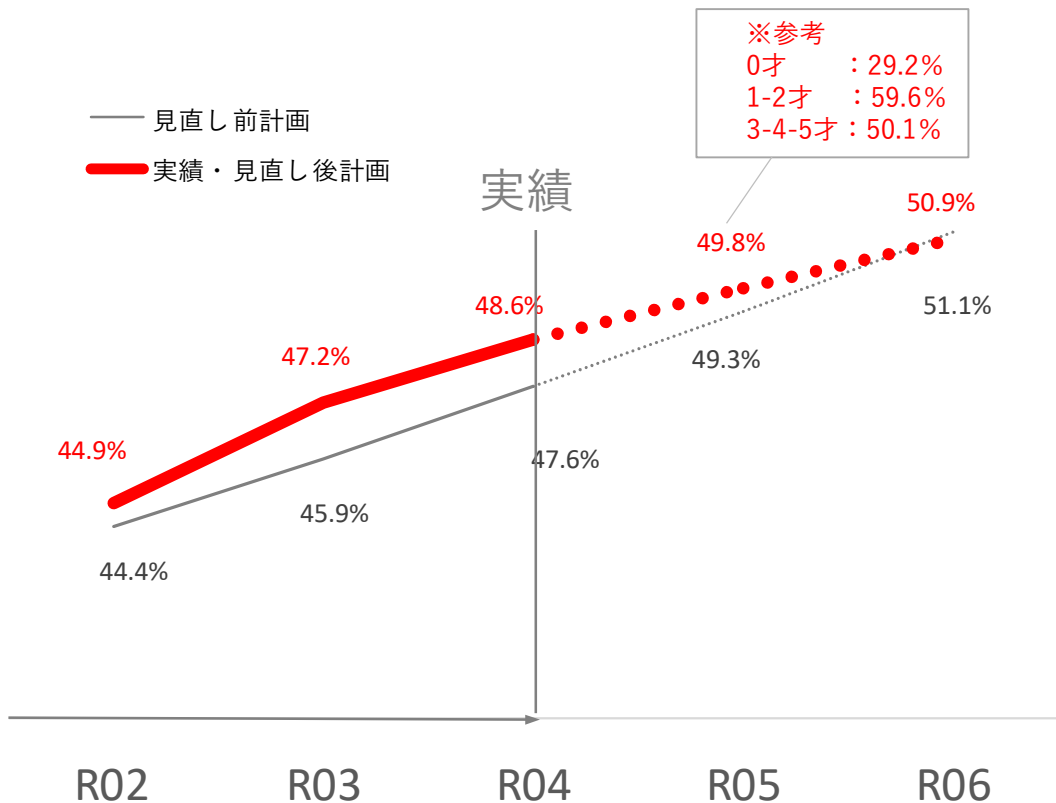


R4年度実績 ▲408人

R5年度推計 ▲458人

R6年度推計 ▲480人₂

全年齢 保育ニーズ（申込率）の見直し



直近3カ年度の
増減率・増減数を用い
て再推計



R5年度申込率を
上方修正したものを
採用

量（申込者数）の見直し

申込者数の推移

		実績			計画	
		R02	R03	R04	R05	R06
0才	見直し前計画	197	203	209	215	222
	実績・見直し後計画	226	192	192	201	203
1・2才	見直し前計画	865	876	898	923	948
	実績・見直し後計画	850	891	844	823	847
3才以上	見直し前計画	1,110	1,144	1,175	1,202	1,251
	実績・見直し後計画	1,109	1,109	1,100	1,112	1,119
全体	見直し前計画	2,172	2,223	2,282	2,340	2,421
	実績・見直し後計画	2,185	2,192	2,136	2,136	2,169

人口 × 申込率
 ⇒ 申込者数は横ばい・微増
 (例) R5年度0才人口688人, 申込率29.2%
 $688人 \times 29.2\% \approx 201人$ の申込者数

見直し前 2,300人前後で推移
 見直し後 2,100人前後で推移

R4年度実績 ▲146人
 R5年度推計 ▲204人
 R6年度推計 ▲252人

1.量（申込者数）の見込

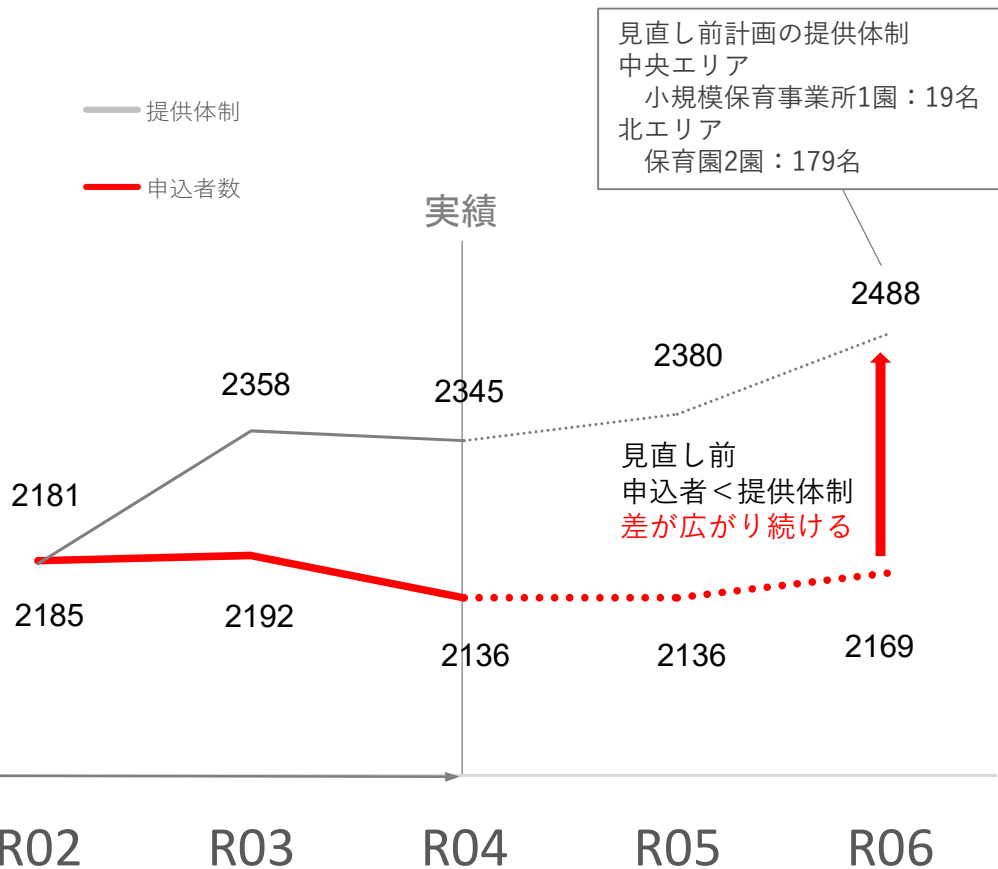
2.提供体制

3.市内幼稚園新制度移行状況

4.中間見直しの方向性

5.資料

申込者数と提供体制（計画見直し前）



R4年4月1日現在

提供体制2,345人

申込者数**2,136人**

全体では充足している様に見える

R4 待機児童数は**10名**

北エリア : 1才児3名 2才児2名

中央エリア : 1才児1名

南エリア : 1才児3名 2才児1名

エリアごと・年齢ごとの確認が必要

中央エリア

		実績			推計	
		R02	R03	R04	R05	R06
0才	申込者数	69	53	44	44	49
	提供体制	80	93	81	78	78

こぐま撤退 ▲3名

1才	申込者数	118	145	115	112	125
	提供体制	124	146	153	150	150

こぐま撤退 ▲3名

2才	申込者数	124	116	127	118	126
	提供体制	140	166	172	168	168

こぐま撤退 ▲4名

3才	申込者数	119	108	99	102	100
	提供体制	117	150	150	160	160

小羊認定こども園化+10名

4才	申込者数	101	122	102	100	106
	提供体制	118	151	151	161	161

小羊認定こども園化+10名

5才	申込者数	93	102	112	115	126
	提供体制	119	151	151	161	161

小羊認定こども園化+10名

中央エリアでは
全ての年齢層で充足



他のエリアの待機児童
を中央エリア等で吸収



ただし、1才児で1名
の待機児童発生

北エリア

		実績			推計	
		R02	R03	R04	R05	R06
0才	申込者数	115	97	109	111	113
	提供体制	127	126	123	120	120

こぐま第2撤退 ▲3名

1才	申込者数	222	224	200	199	200
	提供体制	177	173	174	168	168

こぐま第2撤退 ▲6名

2才	申込者数	215	234	224	206	200
	提供体制	204	199	200	194	194

こぐま第2撤退 ▲6名

3才	申込者数	199	191	193	188	176
	提供体制	155	155	153	153	153

4才	申込者数	183	186	181	193	203
	提供体制	160	160	156	156	156

5才	申込者数	171	174	185	182	184
	提供体制	162	162	158	158	158

0才以外で
提供体制が申込者数を下回る

1才児：3名

2才児：2名

の待機児童発生

中央エリアの空き枠等に
充当し待機児童数を削減

南エリア

		実績			推計	
		R02	R03	R04	R05	R06
0才	申込者数	42	42	39	46	41
	提供体制	49	55	50	50	50
1才	申込者数	83	85	89	96	104
	提供体制	101	116	101	101	101
2才	申込者数	88	87	89	91	93
	提供体制	114	121	123	123	123
3才	申込者数	68	73	79	85	82
	提供体制	78	78	83	83	83
4才	申込者数	78	72	76	72	77
	提供体制	78	78	83	83	83
5才	申込者数	97	81	73	73	64
	提供体制	78	78	83	83	83

定員は概ね充足しているが



南エリアにおいても

1才児：3名

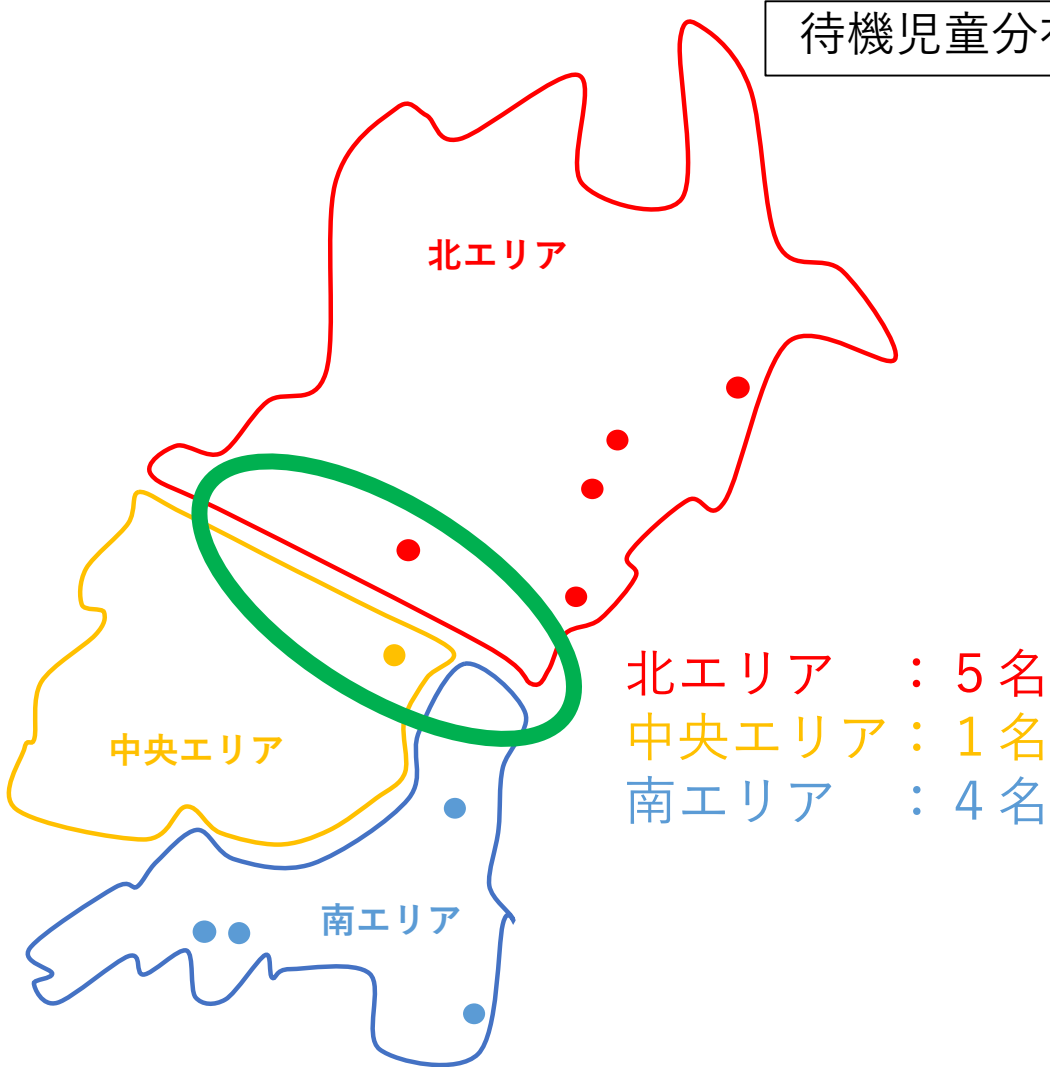
2才児：1名

待機児童発生



次ページにて待機発生箇所を補足

待機児童分布状況




待機児童 10名の内訳

1才児 7名

2才児 3名



左図  のエリアに限定

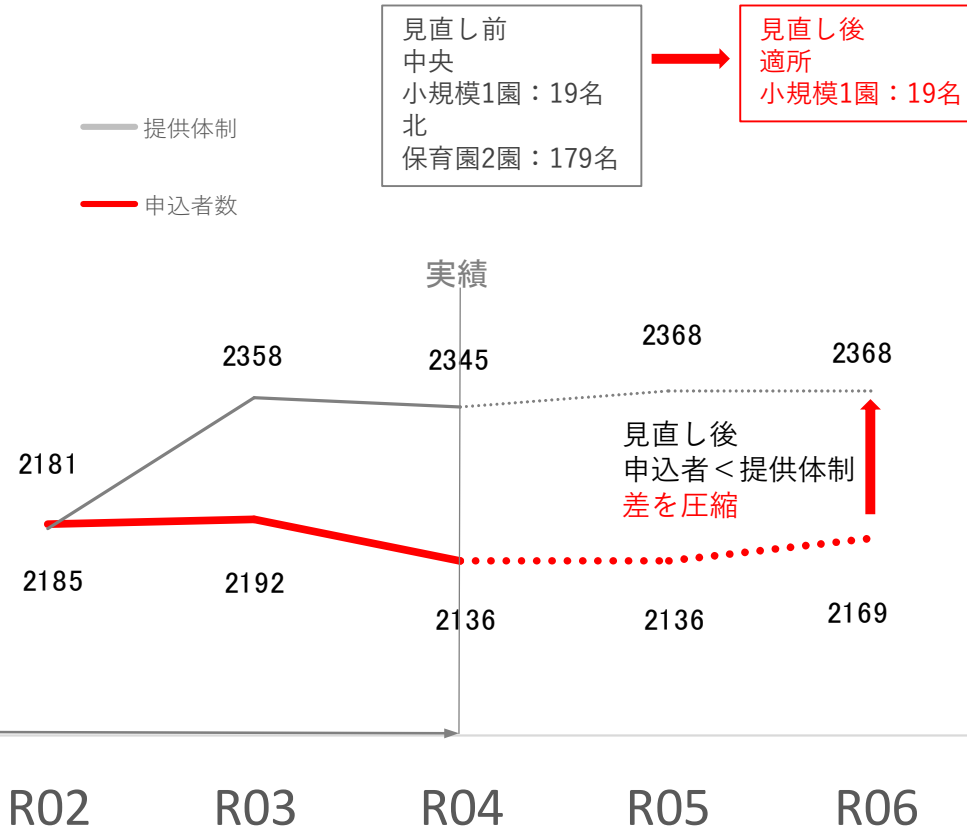
1才児・2才児枠

定員19名程度

小規模保育事業所を誘致

※概ね白子2・3丁目、下新倉
2丁目、丸山台、本町を想定

申込者数と提供体制（計画見直し後）



計画見直し後

- 適所に**19名程度の小規模保育事業所**を整備
- R5年度、R6年度にかけて**幼稚園の認定こども園化**



提供体制の適正化を計るとともに、**待機児童を解消**

1.量（申込者数）の見込

2.提供体制

3.市内幼稚園新制度移行状況

4.中間見直しの方向性

5.資料

市内幼稚園 新制度移行状況（前回から変更あり）

幼稚園名	移行状況	移行後の 施設形態	特記事項
大和すみれ幼稚園	R6年度 移行希望あり	認定こども園 (型未定)	すでに新制度移行済 幼稚園型・幼保連携型は未定
新倉幼稚園	R5年度 移行希望あり	幼稚園	さらにR6年度 認定こども園移行希望あり
小羊幼稚園	R5年度 移行希望あり	幼稚園型 認定こども園	現在県と協議中 2号定員は3, 4, 5才各10名を想定
やまと幼稚園	時期未定		しらこ保育園開園直後のため

1.量（申込者数）の見込

2.提供体制

3.市内幼稚園新制度移行状況

4.中間見直しの方向性

5.資料

中間見直しの方向性

量の見込	人口は減少、申込率は上昇、令和4年度以降申込者数は横ばい・微増
提供体制	小規模1園、保育所2園(179名)増設にかえて、適所への1・2才児の小規模保育事業所を誘致
市内幼稚園	認定こども園化をすすめ、3才枠確保の推進(大和すみれ、新倉、小羊など)
中間見直し	小規模保育事業所と幼稚園の認定こども園化により提供体制を充足・適正化

- 1.量（申込者数）の見込
- 2.提供体制
- 3.市内幼稚園新制度移行状況
- 4.中間見直しの方向性
- 5.資料**

